



VENTOSan

ヴェントサン

取扱説明書

- operating manual -

— sMove コントローラ使用方法とメンテナンス説明 —



- このたびはデセントラル熱交換換気システム「ヴェントサン」をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
- この商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。
- お読みになったあとは、使用者がいつでも見られるところに必ず保管してください。

交換用フィルター・花粉フィルターはオンラインショップにてご注文いただけます

Amazon QR コード:



目次



1. 安全上のご注意	2
2. コントローラ sMove	4
2-1.各部名称とはたらき	4
2-2.操作方法	5
3. メンテナンス	9
3-1.安全上のご注意	9
3-2.インナーカバーの取り外し	10
3-3.換気ファンの取り外し	14
3-4.換気ファンのクリーニング	15
3-5.蓄熱エレメントのクリーニング	15
3-6.クリーニング後の組み立て	16
4. アフターサービス	17
4-1.保証要件について	17
5. 「故障かな！？」と思ったら	17
6. 製品仕様	18

1. 安全上のご注意

必ずお守りください

取扱説明書には、使用者や第三者への危害と財産を未然に防ぎ安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。

次の内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

	<p>警告</p> <p>この項目は、「死亡または重傷または物的損害などを負う可能性が想定される」内容です。</p>
 <p>警告</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 交流 100V を使用してください。 直流や交流 200V を使用すると感電や基板破損の原因となるおそれがあります。 ● コントローラが浴室など湿気の多い所に据付けられていないか確認してください。 火災・感電の原因となるおそれがあります。 ● お手入れの際は必ず運転を停止し、分電盤ブレーカーを切ってください。 感電・けがの原因となるおそれがあります。 ● 異常時(こげ臭い等)は、運転を停止して分電盤ブレーカーを切ってください。 異常のまま運転を続けると故障や感電・火災の原因となるおそれがあります。 ● 外気の取り入れ口は、燃焼ガス等の排気を吸い込まない位置にあるか確認してください。 新鮮な空気が取り入れられず、室内が酸欠状態になる原因となるおそれがあります。 ● お手入れの際は足元が不安定な台に乗らないでください。 転倒などによりけがの原因となるおそれがあります。

 <p>注意</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 天井に据付けられていないか確認してください(壁面据付専用) 落下によりけがの原因となるおそれがあります。 ● お手入れの際は手袋を着用してください。 手袋を着用しないとけがの原因となるおそれがあります。 ● お手入れ後の部品の取付けは確実に行ってください。 落下によりけがの原因となるおそれがあります。 ● 長期間使用しないときは、必ず分電盤ブレーカーを切ってください。 絶縁劣化により感電・漏電火災の原因となるおそれがあります。 ● ヴェントサン専用の屋外フードが取付けてあるか確認してください。 雨水の浸入により感電・火災や家財等を濡らす原因となるおそれがあります。 ● 霧の多く発生する地域や異常に湿度の高い時は、製品から水が滴下するおそれがあります。 ● 蓄熱エレメントやフィルターを通り抜けて室外側に、一部の粒子や虫等が通過する場合があります。 ● 高温や直接炎があたったり、油煙の多い場所では使用しないでください。 火災の原因となるおそれがあります。
 <p>禁止</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 可燃性ガスが漏れた場合は、ヴェントサンの電源を「入」・「切」しないでください。 電気接点の火花により爆発する原因となるおそれがあります。 窓を開けて換気してください。
 <p>禁止</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 改造や工具を必要とする分解はしないでください。 火災・感電・けがの原因となるおそれがあります。
 <p>禁止</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 製品を水につけたり、水をかけたりしないでください。 火災・感電の原因となるおそれがあります。
 <p>禁止</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 浴室など湿気の多いところでは使用しないでください。 感電・故障の原因となるおそれがあります。
 <p>禁止</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 運転中は、本体内部でファンが回っているため、物を入れないでください。 けがの原因となるおそれがあります。

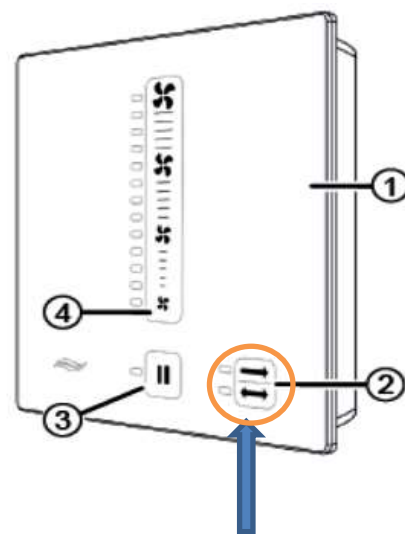
2. コントローラ sMove

2-1. 各部名称とはたらき

風量の調整，ナイトパージモードの設定ができます。

操作方法につきましては、『2 - 2. 操作方法』をご参照ください。

- ① パネル
- ② モードボタン
- ③ 一時停止ボタン
- ④ 風量調整ボタン



半年に 1 回点滅 フィルター清掃お知らせランプ

180 日周期で、モードボタン（右下②ボタン）の LED が連続的に点滅し、フィルター清掃をお知らせします。清掃か点検を行ってください。点滅中もモード変更や風量調整は可能です。

5 秒以上モードボタン（右下②ボタン）を押すと、

点滅は解除されます

コントローラ消灯について

省エネ設計の為、コントローラは操作後 15 秒ほどで消灯します

再度タッチするとランプが点灯するので、点灯後任意の操作をしてください

2-2.操作方法

A. 風量の調整

モード設定

ヴェントサンは熱交換モード、ナイトパーズモードの2種類のモードを手動で設定できます。

右下ボタン②のモード表示

オレンジランプ点灯時 : 熱交換モード

ブルーランプ 点灯時 : ナイトパーズモード

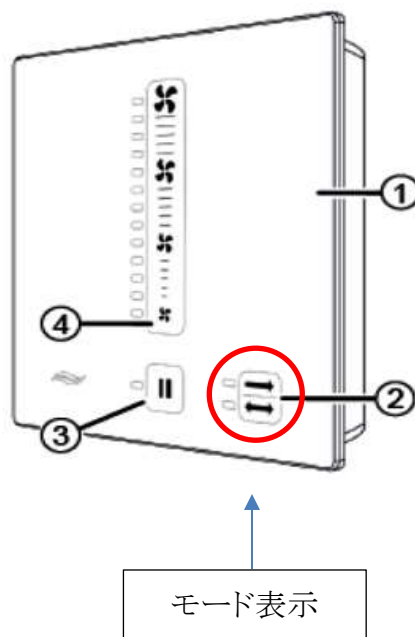
ランプ点滅時 : フィルター清掃お知らせ

熱交換モードとは :

給気と排気の間で温度を交換し、
外気を室内環境に近い状態にして換気します。

ナイトパーズモードとは :

熱交換をせずに換気します。
室内が熱く外気が涼しい夏の夜間などに効果的です。



フィルター清掃お知らせランプ :

180日周期で、モードボタン（右下②ボタン）のLEDが連続的に点滅し、フィルター清掃をお知らせします。フィルター清掃や点検を行ってください。点滅中もモード変更や風量調整は可能です。

5秒以上モードボタンを押すと、点滅は解除されます

風量調整

① 一時停止ボタン

一時停止は 4 段階の選択できます。

一時停止中は、風量と一時停止のボタンが交互に点滅します。

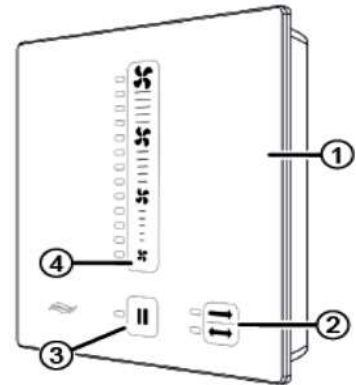
風量ボタンの表示が残り時間を表しています。

1 回タッチ: 1 時間停止 LED1 段目と交互点滅

2 回タッチ: 2 時間停止 LED2 段目と交互点滅

3 回タッチ: 4 時間停止 LED4 段目と交互点滅

4 回タッチ: 8 時間停止 LED8 段目と交互点滅



一時停止の残り時間表示

風量ボタンの表示が残り時間を表しています。

たとえば 8 時間一時停止に設定して 6 時間後にコントローラを確認すると、

風量のバーの 2 と一時停止ボタンが交互に点滅し、残り 2 時間停止すると確認できます。

一時停止は、④風量ボタンをタッチすれば中止します。

②風量調整ボタン

4 つあるファンのボタンを押すと簡単に風量調整できます。

細かな調整をする場合は、調整ボタンを押しながら指を上下にスライドします。

リフレッシュ機能

強運転ボタン（一番上のファンのマーク）を 3 秒以上長押しすると、15 分間リフレッシュ運転し、LED が連続して点滅します。15 分経つと元の風量に戻ります。

来客時や早朝など、窓を開けることなく空気をリフレッシュできます。

オフ

上図③の一時停止ボタンを 5 秒間長押しすると電源 OFF です

B. CO2 デマンドコントロール換気（オプション）

建物の換気は少な過ぎても多過ぎても問題になる可能性があります。

換気過多は、多くのエネルギーの使用とそれに伴うコスト増の原因となります。

換気不足は、眠気や倦怠感だけでなく、深刻な健康問題の原因になる事もあります。

眠気や倦怠感の主因は CO2 濃度なのです。

毎日窓を開けて換気するのが、気密性が高い欧米の住宅居住者の習慣ですが、従来型の日本の住宅の場合は気密性が高くないのでそんな心配はしなくてよく、窓を開ける習慣が少ないのが現実です。

高気密・高断熱住宅では、室内に多くの人が滞在している事や、レンジフードを回さずにコンロなどを使ったりする事などが CO2 濃度急上昇の原因です。

「ヴェントサン」は CO2 センサーを使って室内の二酸化炭素の上昇を抑制できます。CO2 センサーを任意の場所に設置し、センサーにあらかじめ二酸化炭素の上限を設定します。初期設定では 1000PPM になっていますが、任意で 0～2000PPM までの設定が可能です。

室内の二酸化炭素が設定した濃度を超えるとセンサーが感知し自動的にヴェントサンは強運転になります。

換気を早めることで室内の二酸化炭素濃度が下がります。

設定以下になると自動的に元の運転に戻ります。

小学校時代、ストーブの熱で頭がボーッとになった経験はありませんか？

狭い会議室やセミナー会場で頭がボーッとになった経験はありませんか？

気密性が高いビル内に多くの人が入ると CO2 が悪さをします！

室内の二酸化炭素濃度を常に快適に保つことができる方法、それがヴェントサンの「CO2 デマンドコントロール」です。

CO2 デマンドコントロール用センサー

【初期設定】 1000PPM

センサーの感度は 0PPM から 2000PPM までの間で、任意で設定ができます。

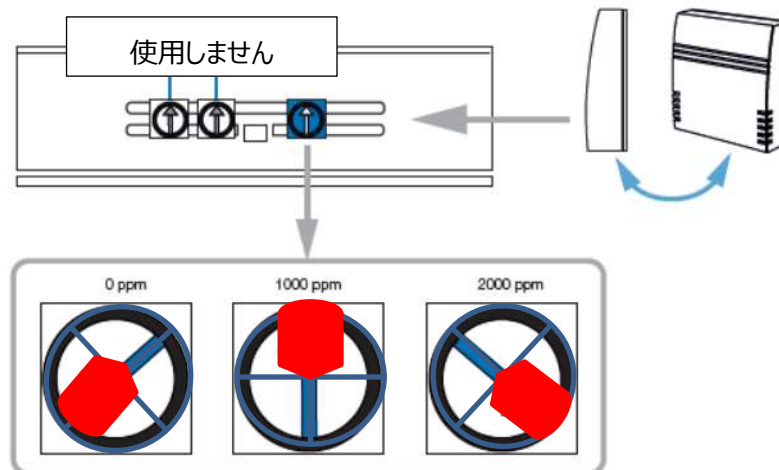
設定を超える CO2 を感知すると、自動的にファンが最大風量になり換気を行います。
CO2 濃度が下がれば自動的に以前の風量に戻ります。

センサーの設定方法

- ① センサーの下のスリットの間から小型ドライバーを挿入し、ダイヤルを回して設定してください。(下図参照)
ダイヤルは赤く塗られている箇所が矢印です。
初期設定 (1000PPM) では上部に赤いマークが確認できます。



ダイヤルは一番右側の離れたものを使用します。
左側の2つのダイヤルは使用しません。




上図 1000 P P M と 2000 P P M の間、2 時の方向で 1500 P P M に設定できます。


※CO2 濃度をコントローラで確認することはできません。

3. メンテナンス

ヴェントサンは専門工事店に頼らず、ご家庭で手軽にお手入れとフィルター交換ができます。
適切にご使用いただくために、定期的にお手入れを行うことをお勧めします。

3-1.安全上のご注意

	<p>警告</p> <p>この項目は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● お手入れの際は必ず運転を停止し、分電盤ブレーカーを切ってください。 感電・けがの原因となるおそれがあります。
---	---

	<p>注意</p> <p>この項目は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● お手入れの際は手袋を着用してください。 手袋を着用しないとけがの原因となるおそれがあります。 ● お手入れの際は足元が不安定な台に乗らないでください。 転倒などによりけがの原因となるおそれがあります。 ● 蓄熱エレメントはセラミック製です。 割れやすいため、落とさないようご注意ください。 ● お手入れ後の部品の取付けは確実に行ってください。 落下によりけがの原因となるおそれがあります。
---	--

フィルターはエディフィス省エネテック株式会社のオンラインショップにてご注文下さい。

Amazon



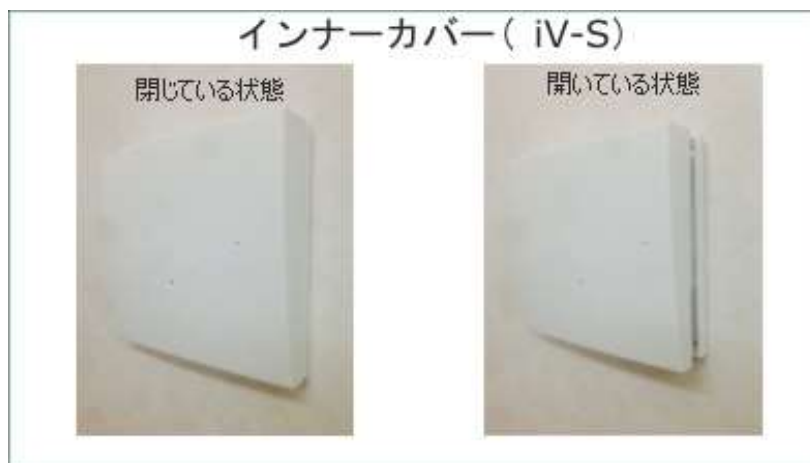
3-2.インナーカバーの取り外し

A. インナーカバーを外す

◆Flair の場合 : カバーは上下 4 か所の固定用ガイドで取り付けられています。



◆iV-S の場合 : カバーは上下 4 か所の固定用ガイドで取り付けられています。
Flairと同様にガイドの左右に突起がありますので、突起部を押しながら外すことで取り外しできます。



- ◆R298 の場合 : カバーは 4 か所の固定用ガイドで取り付けられています。
Flairと同様に固定用ガイドを押すことで取り外しができます。
カバーが開いた状態で、4 か所の固定用ガイドを一か所ずつ強く押すことで取り外しできます。



- ◆IBQ280 の場合 : カバーは上下 3 か所の固定用ガイドで取り付けられています。
固定用ガイドを強く押すことで取り外しできます。
- VENTOsan の文字が正常に見える状態で給排気可能です。
VENTOsan の文字を上下逆に見える状態ではめ込むと完全に閉まります。外部の音が気になる場合や台風の際など一時的に閉める
ときにご利用ください。



B. 標準フィルターを取り外す

標準フィルターは洗浄して、繰り返し使用できます。

◆Flair, iV-S の標準フィルターの外し方

周囲のラバーに持ち手があります。持ち手を持ってフィルターを外します。

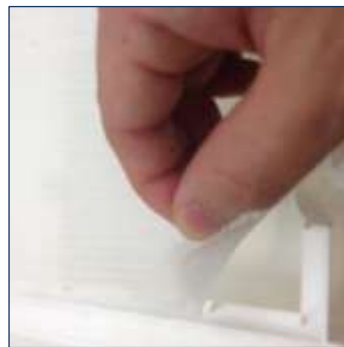


◆R298 の標準フィルターの外し方

フィルター固定突起から引っ張ります。



- ・ IBQ280 の標準フィルターの外し方
フィルター固定突起から引っ張ります。



A. 標準フィルターの取り付け

- Flair・iV-S の場合は周囲のラバーを持ってフィルター固定突起に標準フィルターを押さえながら固定します。



- R298・IBQ280 の場合はフィルター固定突起に標準フィルターを押さえながら固定します。



B. 標準フィルターの洗い方

付着した埃を取り除いて(手で軽くたたき落とすか、掃除機で両面吸引するなど)から、水で薄めた中性洗剤を使い、標準フィルターの繊維を壊さないよう、やさしく手洗いしてください。

手洗い後は真水で洗剤をよく洗い流してください。

汚れが付着することがあるため、他の物と一緒に洗わないでください。

取り付ける前に標準フィルターを完全に乾かしてください。

C. 取り換え時期

洗浄しても汚れが落ちない場合は、取り換え時期です。

交換用フィルターはオンラインショップにてご注文下さい。

Amazon QRコード:

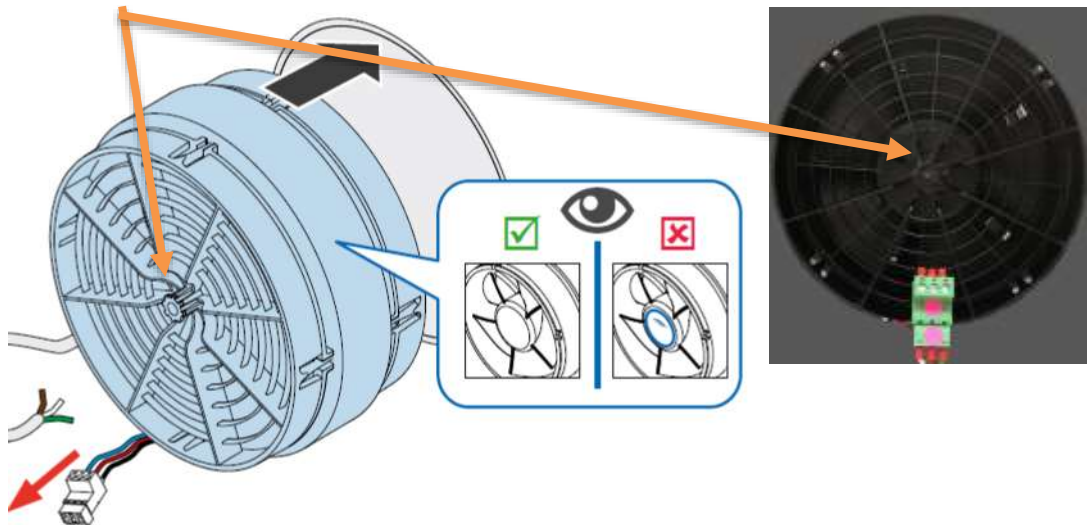


3-3.換気ファンの取り外し

A. 換気ファンの取り外し

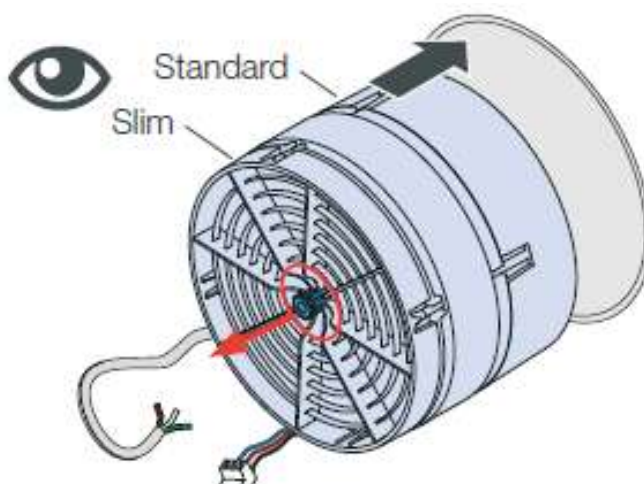
VENTOsan JW

中央の持ち手を持って引き抜きます。



VENTOsan SP / ZERO

中央の持ち手を持って引き抜きます。



3-4.換気ファンのクリーニング

換気ファンは、歯ブラシ等の柔らかいブラシでブラッシングし、湿った布でふいてください。

3-5.蓄熱エレメントのクリーニング

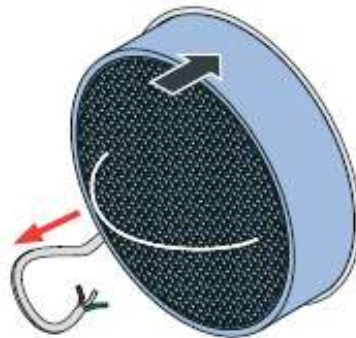
セラミック製蓄熱エレメントの汚れは、少なくとも年に1度のペースで確認してください。

蓄熱エレメントの中の埃は掃除機で吸い込んでください。それでも取り除くことができない場合は、水洗いしてください。クリーニング後は、蓄熱エレメントを十分に乾燥させてから再度セットしてください。

特に寒冷地においては、水分が残っていると凍結や結露の原因となりますのでご注意ください。

A. 蓄熱エレメントのクリーニング手順

- ① コントローラをOFFにしてください。（一時停止ボタンを5秒長押し）
- ② インナーカバーを取り外し、フィルターを外してください。
- ③ 配線ケーブルのコネクターを外し、換気ファンをスリーブから抜き出してください。
- ④ 蓄熱エレメントについているワイヤーを引っ張り、スリーブから抜き出してください。

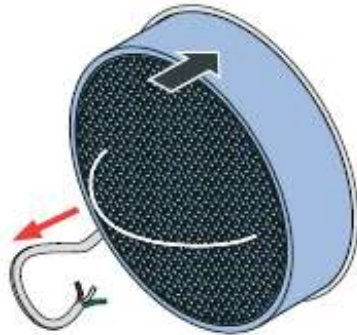


- ⑤ 掃除機などでエアブロー、ブラッシング、水洗いをし、汚れを落とします。
- ⑥ 蓄熱エレメントを設置する前にスリーブの内部を拭いてください。
- ⑦ 換気ファンの羽を柔らかい布や歯ブラシなどの小さなブラシで拭いてください。

3-6. クリーニング後の組み立て

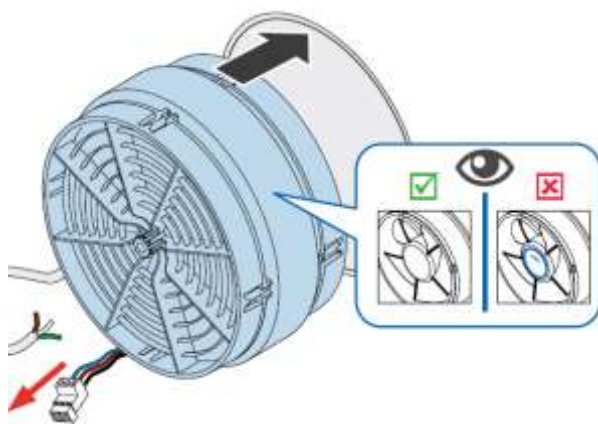
組み立てるときは、取り外したときの逆にセットしていきます。

- ① 蓄熱エレメントを挿入します。

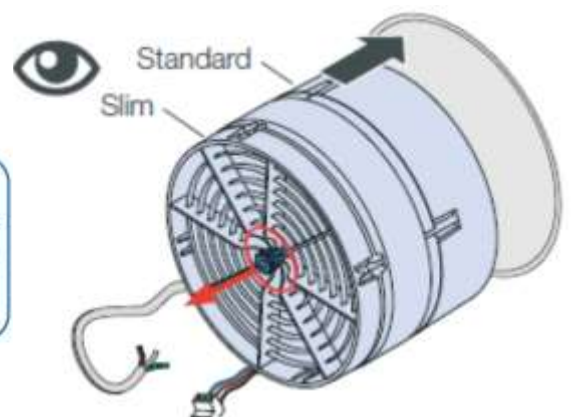


- ② 換気ファンを挿入します。

(緑色のコネクター部分は必ず室内側に、次回も引き抜けるようにしてください。)



JW



SP / ZERO

- ③ コネクターをつなぎます。
- ④ フィルターをセットし、インナーカバーをはめます。

4. アフターサービス

「VENTOsan®」ヴェントサンは、物件のお引渡し日より5年間の製品保証がついています。保証条件がすべて満たされている場合には、製造もしくは設計に起因すると判明した材質不良もしくは機能不良について無償にて修理・交換させていただきます。ただし、当社による現地での取付工事や返金はいたしかねますのでご了承ください。

4-1.保証要件について

保証書は、お買い上げ時に販売店側で必要事項を記入する必要があります。保証サービスはエディフィス省エネテック株式会社の認定販売業者以外は提供できません。意図された用途以外での使用、不適切な取り扱い、通常の摩耗、保守修理作業の不備および不良、不適切な使用、許可されない者による操作等に起因する損傷については一切責任を負いません。

5. 「故障かな！？」と思ったら

- ① 修理を依頼される前に、まず一度電源を切り、60秒後に再度入れ直してください。
- ② コネクターが正常につながれているか確認してください。
- ③ ケーブルが適切に接続されているか確認してください。
- ④ 一時停止ボタンを押すと、風量ボタンと交互点滅する。→P 6 風量調整の項目をご覧ください。
- ⑤ モードボタンが点滅する場合：フィルターの清掃をお知らせしています。
モードボタンを長押ししていただくことで解除できます。

状態が変わらないようであれば、販売店へお問い合わせください。

お問い合わせの際に下記を販売店へお知らせください。

1. 製品名
2. 品番
3. お買い上げ日
4. 故障の状況（できるだけ具体的に）
 - ・スイッチを入れても、換気ファンが回らない。
 - ・換気ファンは回るが、コントローラのスイッチが動かない。
 - ・セラミック蓄熱エレメントを破損してしまった。など

6. 製品仕様

コントローラ sMove		
電圧	100V、50～60Hz	
消費電力(W)	最大	4.7W
定格風量(m ³ /h)	1	21
	2	30
	3	40
	4	58
換気量(m ³ /h)	1	10.5
	2	15
	3	20
	4	29
騒音 JW SP (ZERO)	1	21dB (13dB)
	4	36dB (29dB)
換気ファン回転数	13段階 25%～100%	
換気ファンの最大運転電圧	24V DC	
直流安定化電源	100 V, 50～60 Hz, MAX31.2 W,	

MEMO

日本
総販売
代理店



エディフィス 省エネテック株式会社

〒181-0013 東京都三鷹市下連雀3-32-3 三鷹産業プラザアネックス

TEL: 0422-26-6922

eFAX: 03-6740-1943

E-Mail: contact@edfs.co.jp

<https://edfs.co.jp/>

VENTOsan®保証書

型 名	・VENTOsan
お買い上げ日(お引渡日)	年 月 日
保証期間	物件の引き渡し日より5年有効(VENTOsan 本体・コントローラ)

お 客 様	ご芳名	様
	ご住所	〒
	電 話	()

販 売 店	住所・店名
	この欄に記入のない場合は無効となります。必ずご確認ください。

お買い上げいただき誠にありがとうございました。

保証期間内に操作説明・メンテナンスマニュアル等の注意書きに従って正常な使用状態で使用していて故障した場合には、本書記載内容に基づきお買い上げの販売店が無料修理いたします。

お買い上げの日から左記の期間内に故障した場合は、お買い上げの販売店に出張修理をご依頼の上、本書をご提示ください。

本書は日本国内においてのみ有効です。Effective only in Japan.(下記をご覧ください)

1.保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。

(イ)使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。

(ロ)お買い上げ後の取付場所の移動、落下、引っ越し、輸送等による故障または損傷。

(ハ)火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、ガス害、塩害、公害や異常電圧による故障または損傷。

(ニ)車両、船舶に搭載して使用された場合に生じた故障または損傷。

(ホ)一般家庭以外(例えば、業務用としての使用など)に使用された場合の故障または損傷。

(ヘ)本書のご提示がない場合。

(ト)本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名、製造番号の記入のない場合あるいは字句を書き換えられた場合。

2.離島または離島に準ずる遠隔地へ出張修理を行なった場合には、出張に要する実費を申し受けます。

3.持込修理の対象商品を直接修理窓口へ送付した場合の送料等はお客様の負担となります。また、出張修理等を行った場合には、出張料はお客様の負担となります。

4.ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。

5.贈答品等で本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼に出来ない場合には、お客様ご相談窓口にご相談ください。

6.本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保存してください。

● この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

● 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間については、お問い合わせください。

エディフィス省エネテック株式会社